

北里学級だよりNo.4

たんぽぽ

2017. 7. 3



「私、司会やりたい！」

子どもたちが運営した「梅雨のお楽しみ会」

楽しんでくれたお楽しみ会

4年 ○○○○

6月2日小児病棟のプレイルームで、つゆのお楽しみ会がありました。小さい子から、小学生が参加しました。

司会は、私とYさんです。まず「にじ」を歌いました。次に虫ば予防の話の話を聞きました。歯医者さんが話してくれました。虫ばのことがよくわかりました。夜ごはんのあとに、はみがきこのはいったガムをかむといいです。

つづいて、調理師さんから今日のおやつ(手作りおかし)の話がありました。

2人で司会をしたけど、とてもきんちょうしました。でも、みんながうれしそうにしていたので、よかったです。

小児病棟では、入院中の子どもたちを励ますために、病棟保育士や、北里大学の学生さんによる病院奉仕団が中心になって、お花見の会、子どもの日の会、七夕の会などの様々な年間行事がおこなわれています。

6/4に行われたのが「6月のお楽しみ会」。当初は「梅雨のお楽しみ会」として計画されていましたが、今年に入梅前だったので名前を変えました。

6月を感じさせる歌や、保育士さんのお話を楽しんだほか、今回は6月4日の虫歯予防デーにちなんで、特別に歯科医の窪田先生と歯科衛生士の佐野先生にもお話をいただきました。また、いつも食事を提供していただいている調理師さんからも、当日の手作りのおやつのことを話していただきました。

そして、なんと今回は初めて北里学級の小学生の手によって司会進行が行われたのです。

いつもは「始めの言葉」「終わりの言葉」だけ子どもたちが担当するのですが、司会や歌の伴奏まで、すべて子どもたちの手で運営されました。通常の学校では、学年の発達段階に応じて、子どもたちの自主性を生かし達成感を体験させるプログラムがあります。(係活動や児童会生徒会活動、部活動など)入院中でもこうした活動ができたことに、子どもたちの底力を感じたお楽しみ会でした。



ベッドのまま教室へ

特別支援学校のRさんは、身体を起こすことが難しいので、いつも病室で横になったまま、音楽を聴いたり絵本の読み聞かせや紙芝居などの授業を受けていました。

先週から、看護師、保育士、補佐さんなどいろいろな方々の配慮により、ベッドのまま教室に来て、他の子どもたちと一緒に授業を受けています。

朝の会で、いつも歌っている今月の歌は「茶つみ」(♪夏も近づく八十八夜〜チョンチョン♪)。全国の小学校3年生が学習する歌です。歌い始めると、あの

チョンチョンと手を合わせる所で、両手を少し上げて、ハイタッチのようなしぐさを見せてくれたのです。嬉しい時、楽しい時はいつも満面の笑顔を見せてくれるRさん。他の子どもたちと同じ空間(教室)にいて、授業の雰囲気を感じてくれているだけで楽しい気持ちになれるのかな、と感じました。

